テーマ：自然（冬）

４歳児クラス　１６名　４０分

活動　②氷づくり実験

友だちと気づいたことを共有しながら、一人ひとりが考えながら実際に試してみる。

準備したもの　透明カップ、大きさの違うバケツ、色水

〇活動内容

前回の霜柱、氷探しで気づいたことを思い出しながら、一人ひとりが考えた方法で氷を作ってみる。

〇保育者の問いかけやアプローチ

クラスで共有したことを思い出しながら実験ができるように、初めにグループタイムで改めて伝えてから始めた。ホワイトボードに書き掲示しておいたことで、自由遊び中にも確認しに来るなど興味関心を持続することができていた。前回の気づきを振り返る中で、一人ひとりが作ってみたいという意見も出た為、一人ひとりのカップも用意した。水に色を付けることができるのかという疑問を持った子がいたので、色水と透明の水の 2 種類用意した。また、大きさや水の量によって凍ったり凍らなかったりするのではとの意見も出ていたので、様々な大きさのカップを用意した。

〇子どもの様子

霜柱、氷探しが楽しかった様子で、どんなことに気付いたかをよく覚えていた。あえて透明の水をカップに入れる子もいれば、単色の色水を入れる子、混ぜたらどうなるのか気になるからと２，３色の色水を混ぜてみる子など様々なアイディアが生まれていた。また、「私は凍らせたいから少ししか入れない」「本当に水が多いと凍らないのか知りたいから、たくさん入れてみる！」など、自分自身の気づきを踏まえて試してみようとする様子が見られた。園の敷地内のどこに置いたら良いかも子ども達と考えていった。前回、「日かげで寒い所」という気づきがあったため、園舎の端の日かげに置いておくこととなった。

振り返り

実験開始後、毎日水を置いている場所を通るたびに凍っているか観察する子ども達の様子が見られた。なかなか凍らず不思議に思っている子どもが多いので、また子ども達と考える機会を作っていく